



学校祭など、大きな集団がひとつの目的に向かって動く時、
「ルール」の意味を再確認することが大切です。

^ル^ー^ル
Rule = 全体の利害を考えた決まり。秩序を維持する規則。

^マ^ナ^ー
Manner = 限定な範囲に設定された約束事。

^ポ^リ^シ^ー
(※Policy = 事を行う際の個人的なこだわり)

「ルール違反」に必ず罰則が課せられるのは..

⇒ 集団での規則(ルール)が守れないと**他者・環境に影響・迷惑**が及ぶから
(↓集団の中で自分の"こだわり"をとおそうとする時↑)

⇒ 自身の約束事(マナー)を守れなくても**影響は自分だけ**が受ける

That's why, マナー違反には必ずしも罰則はない

ルールが前提の集団社会で生きていくなれば..

⇒ "個人的に納得いかないルール"が多々あるのも事実

⇒ "通用しない個人的なマナーやポリシー"が多々あるのも現実

and then, 「マナーやポリシーを貫いてルールを違反」は通用しない

**集団のルール(=世の中の現実)と個人のマナー・ポリシー(=自分の価値観)を
どれだけ近いものに出来るか？が真の大人への分かれ道**

学校祭など、余裕がなくなったり、疲れが溜まってきた時、
「感情」だけが先走ってしまうと...

ちょっとした言葉が相手を**傷つけて**しまう ⇒
行動が相手を**不快**にさせてしまう

人は**無意識**のうちに
(気づかぬうちに)
他者を傷つけてしまうもの

だったらどんな意識を持てばいい??

⇒ 無意識でも傷つけるんだから、意図的に「荒さがし」をすると..

⇒ 無意識では傷つけてしまうから、意図的に「気を使おう」としたら..

中学から高校まで「気づかいなく」「気ままに振舞って」通用して来た(と思い込んでる)人がいるとしたら..

今まで ⇒ 家庭(保護者)や学校(先生方) ⇒ 常にあなた方を気づかっている環境

これから ⇒ 社会(他人)や組織(同僚・上司) ⇒ 常にあなた方が気づかいをする環境

気づかいとは、余裕のない相手を尊重・許容すること。許容できないのは自分自身に余裕がない証拠。